

夏休み中にぜひ1冊！

【読書のすすめ】

2016.07 図書館より

読書を楽しもう

棠楓祭も終わり、いよいよ夏休みが近づいてきました。忙しい毎日を送る人が多いことと思いますが、学期中にはできないような経験をする時間も休み中にはとれるだろうと思います。ぜひ読書の体験をする時間も取り入れてほしいと思います。

若い時期の読書は、自己の形成に大きな影響があります。思考力が身につく、自分の感性が育ちます。またそれは、人生の豊かさにもつながっていきます。これまでには読まなかったような本にも触れる機会を作ってみましょう。そこから新たな世界が広がるかもしれません。自分が読みたい、読んでみようと思える良い本を選んで、この機会に読書の楽しみをぜひ体験してください。

よい本を選ぼう

読書は本を読むこと自体が目的なので、自分で考えて自由に選ぶのが基本です。携帯電話やパソコンで読めるものなどもありますが、図書館や書店などで実際に本を手にとって、質感や量感を確かめながら読むのがよいでしょう。まず、自分にとって良いもの、読む価値の感じられるものを選んでください。

※本選びには、図書館オリエンテーションで配付された『読書のしおり』も役に立ちます。また図書館には各出版社からの夏の小冊子も置いてあります。参考にしてください。

感想も書こう

また時には、自分の思いをよく考えて明瞭にし、まとめて表現することも大切です。

1・2年生では、夏休みの課題として読書感想文を書いています。優れたものは、県や全国のコンクールに出品されます。本校生徒の作品は、県のコンクールで毎年入賞しています。昨年度も学校代表として出品した中の2作品が優良賞に選ばれました。今年も、高校生らしい率直な思いの表れた、読み応えのある感想文に数多く出会えることを期待しています。教科担当の先生の指示に従って、下記の要領で書いて提出してください。

読書感想文について

1 対象図書

- ① 自由読書 フィクション・ノンフィクションを問いません。
- ② 課題図書 プリント裏側に紹介してあります。

2 用紙・字数

縦書き400字詰め原稿用紙 4枚以上で5枚以内

【1900字以上（4枚16行以上）が望ましい：県の基準による】

3 提出日・提出場所 等

各学年の国語科から連絡があります。

第62回青少年読書感想文コンクール

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

課題図書（高等学校の部）

★この3冊は八日市高校図書館にもあります★



『タスキメシ』

額賀 濤 著 (小学館 1300円)

駅伝×料理男子。陸上の名門高校で長距離選手として将来を期待されていた真家早馬（高3）は、大けがのリハビリ中に調理実習部の都と出会い料理に没頭する。一学年下で同じ陸上部員の弟春馬、陸上部部長の親友助川、ライバル校の藤宮らは早馬が戻ってくることを切実に待っている。箱根駅伝を夢見て長距離走に青春を捧げる陸上青年それぞれの思いと生き様が熱く描かれる。青春スポーツ小説の金字塔！



『ハーレムの闘う本屋：ルイス=ミショーの生涯』

ヴォーンダ・ミショー・ネルソン 著 原田 勝 訳

(あすなろ書房 1800円)

1939年、ニューヨーク7番街に、風変わりな書店が誕生した。ナショナル・メモリアル・アフリカン・ブックストア。黒人が書いた、黒人についての本だけ売る店。「ニグロは本を読まない」と言われていた時代、世間の嘲笑をよそに、黒人に本を、そして、知識を広めることに尽力したルイス・ミショーの生涯を描く。表現の自由とは？ 民族の誇りとは？



『シンドラーに救われた少年』

レオン・レイソン 著 古草 秀子 訳

(河出書房新社 1650円)

これ以上、悪いことが起こりませんように…「シンドラーのリスト」に載った最年少のユダヤ人少年による証言録。ユダヤ人大虐殺の過酷な体験を生き延びた少年と家族。「最悪の状況で最善のことをした」ごく普通の人間だったシンドラーの本当の勇気とは、何だったか？